

経営比較分析表（令和3年度決算）

佐賀県 江北町

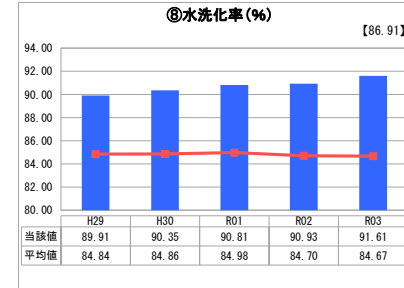
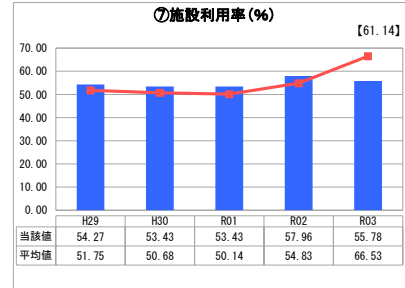
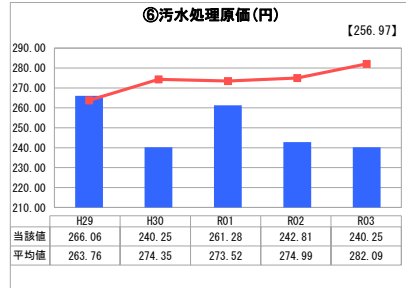
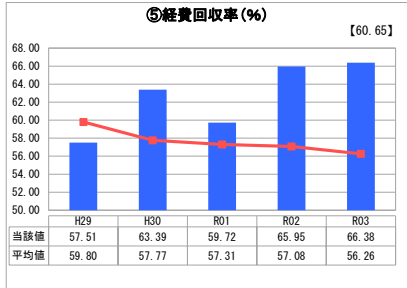
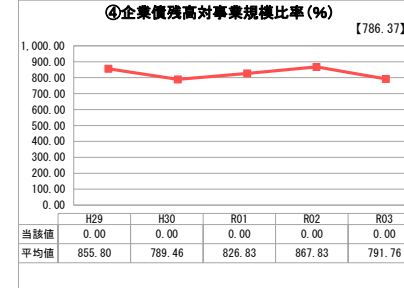
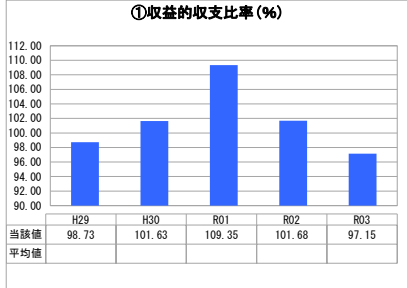
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	17.51	97.77	2,990

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,667	24.88	388.55
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,680	0.72	2,333.33

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

下水道事業統合の影響により下水道使用料が令和2年度は1ヶ月分少なかったが、令和3年度は通常の12ヶ月分計上されたため下水道使用料は増加した。しかし処理場での修繕費や資材費の増により収益的収支が悪化した。また下水道使用料では費用を賄うことができない状況であるため、収入の多くを一般会計からの繰入に依存している。

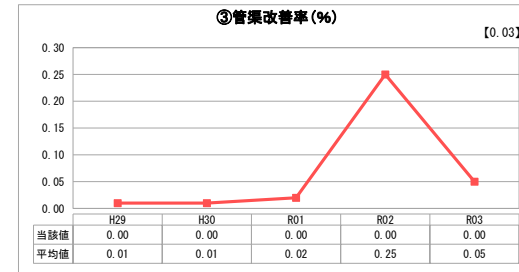
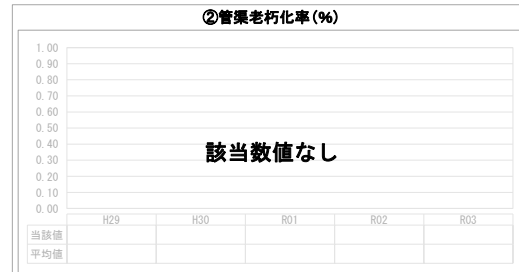
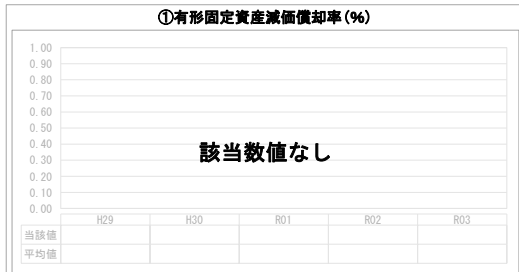
企業債残高対事業規模比率・経費回収率・汚水処理原価は類似団体よりも良好であるが、施設利用率が類似団体及び全国平均よりも数値が低いことから今後も維持管理費の必要経費を精査や施設の処理状況を把握し、より一層効率化を図る。

水洗化率は類似団体及び全国平均よりも高いが、本事業は農業集落区域が対象であるため今後接続戸数大幅な増は見込めない。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水施設については、平成11年度の供用開始から22年を経過し、施設の老朽化が進んでいる。平成27年度から令和2年度まで国庫補助金を活用した更新工事により一部施設は機能強化・長寿命化が図られているが、今後も処理場・ポンプ場の機械電気設備の更新を行う必要がある。数年後には次の更新計画の策定を行う予定である。

2. 老朽化の状況



全体総括

農業集落排水施設については、更新工事による長寿命化やより一層必要経費の精査を行い、維持管理費の低減に努める。また、令和6年度からの地方公営企業法の適用、下水道事業経営戦略の見直し、維持管理費に見合った下水道使用料の検討を行い、一般会計からの繰入に依存している状況を改善する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。